

1-4 将来の都市構造

（1）都市構造の基本的な考え方

本町は、海と山に挟まれた平地に細長く市街地が形成されています。市街地の中心は、東部の大磯駅周辺と西部の国府支所周辺であり、西部地区で人口が増えています。

丹沢山系からつながる鷹取山や高麗山等の丘陵の自然のつながりは、川と海とともに町の骨格を形成し、生態系にとっても大事な所です。

将来の都市構造は、現在の都市構造を受け継ぐとともに、新たな都市的魅力の向上を図っていくことを基本とします。

（2）都市構造

1) 拠点とゾーンと軸

大磯駅周辺と国府支所周辺を都市拠点として位置づけ、各地区の特性を踏まえながら、大磯駅周辺は町の中心として、国府支所周辺は西部地区の中心として拠点の整備を図ります。

大磯港を含めた海浜地と東部・西部にまたがる大磯城山公園・大磯運動公園周辺を文化レクリエーションゾーンとして位置づけ、各地区の特性を踏まえながら、海浜地は海の自然を活かしたゾーン、大磯城山公園・大磯運動公園周辺は公園・里山・谷戸など山の自然を活かしたゾーンの整備を図ります。

国道1号を東海道軸として位置づけ、町の魅力を高め、都市との交流・連携を図る空間とします。また、鷹取山から高麗山につながる里山を緑の環境軸として位置づけ、環境の保全とともにピオトープネットワークなどを図る空間とします。

2) 5つの土地利用地域

① 住宅地

市街地の住宅地・空地、集落を位置づけます。

② 商業・業務地

高麗三丁目の国道1号・県道62号沿道、大磯駅周辺、国府支所周辺を「商業地」、役場から図書館までの国道1号沿道を「業務地」として位置づけます。

③ 工業・流通業務地

高麗一丁目のJR東海道本線沿線地区を「工業地」、高麗三丁目のJR貨物相模貨物駅、大磯港を「流通業務地」として位置づけます。

④ 農業地

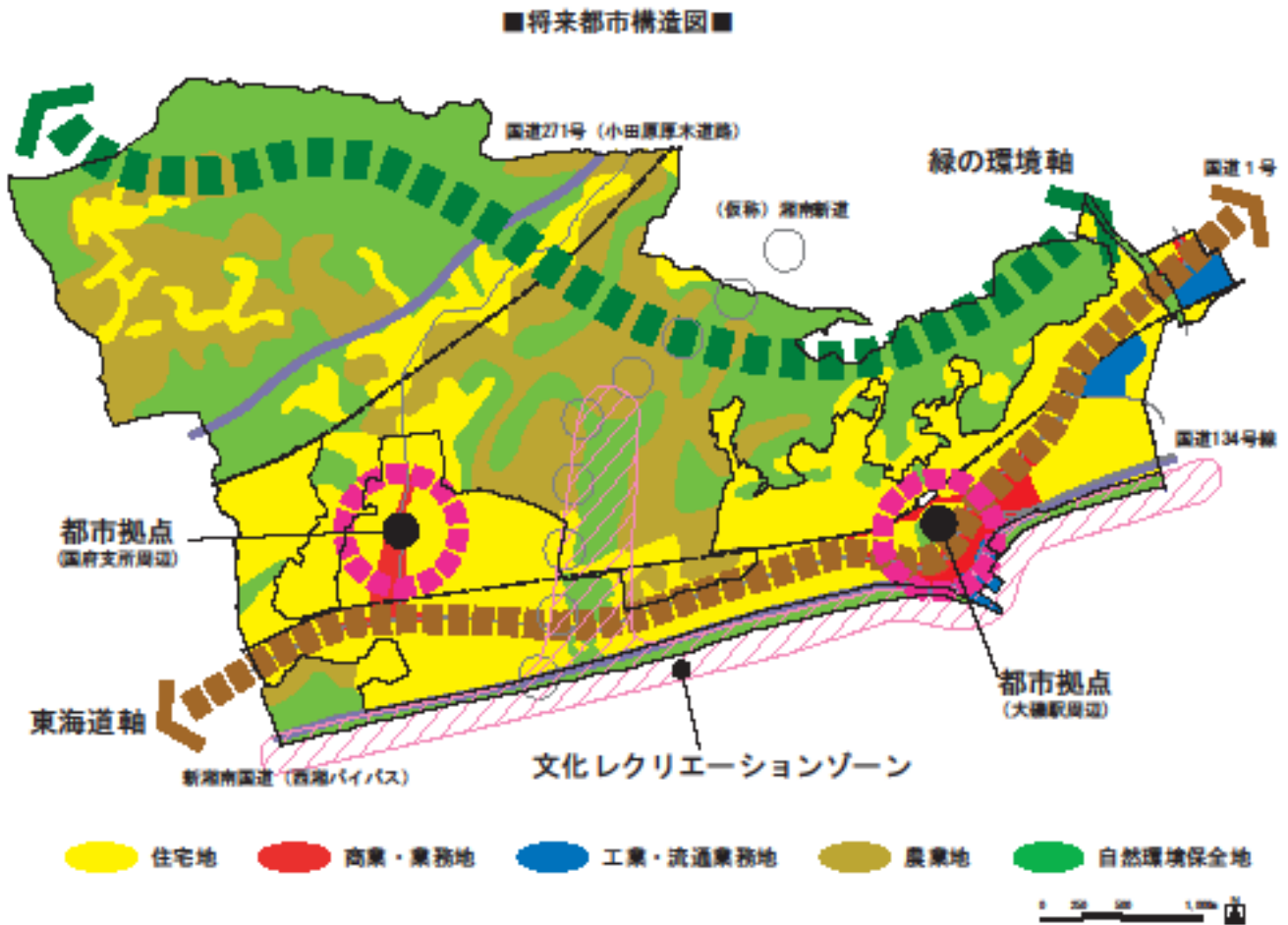
「住宅地」の北側、「住宅地」と「自然環境保全地」に挟まれた地域を位置づけます。

⑤ 自然環境保全地

丘陵地、海浜地、大規模な公園等を位置づけます。

3) 骨格的な交通網

自動車専用道路として新湘南国道（西湘バイパス）、国道271号（小田原厚木道路）があり、この2路線を踏まえて、既存の国道1号、国道134号線を周辺都市と連絡する主要幹線道路として位置づけます。また道路計画を策定し、整備を図ります。



この内容は平成28年6月に一部見直しがされています